

高浜市の  
ココが知りたい  
聞きたい!

# まちづくり トーク&トーク 報告

「まちづくりトーク&トーク」では、市役所職員が、市民の皆さんの生活や活動の現場へ出向き、高浜市のまちづくりについて「こんなことが知りたい・聞きたい」といったテーマに基づいて、市の取組状況や課題などに関する説明やまちづくりに関する素朴な疑問などの意見交換を行っています。

今回は、高浜市建築耐震研究会の皆さんと「公共施設の耐震化と今後の整備計画について」をテーマに実施。

高浜市の公共施設の現状を踏まえ、「高浜市公共施設のあり方計画(案)」の資料をもとに、「公共施設の耐震化の状況や方向性」などについて、建築のプロの皆さんと意見交換を行いました。

## テーマ「公共施設の耐震化と今後の整備計画について」

(実施団体:高浜市建築耐震研究会)

開催日/1月10日 会場/女性文化センター

Q

公共施設の外壁のはく離などによる事故はだれの責任になるの?  
保全計画で行った劣化状況調査とはどんな調査をしたの?

A

●責任は設置管理者である市です。  
●目視による劣化状況の調査を行いました。



Q

民間資金の活用などについては考えているの?

A

●PFI(\*)といった民間資金を活用する手法も踏まえ、総合的に検討をしています。また、公共施設の整備費用を確保するという観点から、現在、市全体として、企業誘致などを行うことによる、市税収入の確保策にも取り組んでいます。



(\*)公共事業を実施するための手法の一つ。民間の資金と経営能力・技術力(ノウハウ)を活用し、公共施設などの設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法

### 参加者の主な感想

- ・すでに建築後かなりの年数が経過している建物の長寿命化(\*)はあまり意味がないと思います。
- ・「防災」の観点から考えると各施設に建築技術者を置くなり、専門家の意見を聞いた方がよいのではないのでしょうか。
- ・市の庁舎などは100年もつような庁舎に建て替えた方が延命化するよりよいと思います。
- ・これからの世代(子どもたち)のための設備投資を行ってほしいと思います。
- ・予算が一番の問題ではないと思いますが、話を聞いていると、今あるものの中で何とかしようとしているように聞こえてきます。施設を膨らませ、複合化していくという考え方の中で企業などを誘致するなど、さまざまな方向性を考える必要があるのではないのでしょうか。
- ・「防災」といったことから気になる点はいくつかありますが、各学校ともすべて耐震診断は完了していることから、基本的には計画のとおり進めていただければよいと思います。



(\*)これまでの建物の維持・更新のあり方を見直すとともに、施設を安心・安全に利用できる状態を保つために、建物や設備の劣化状況などを把握し、計画的かつ段階的な修繕を行うため、建物の維持・改修への継続的投資により施設の延命を図る。

「まちづくりトーク&トーク」は、市内で活動している10人以上の団体・グループを対象に、「説明を聞きたい」「意見交換をしたい」という希望テーマに基づき、随時実施しています。詳しくは、問い合わせください。

申込・問合せ先 困地域政策グループ ☎52-1111(内線365)